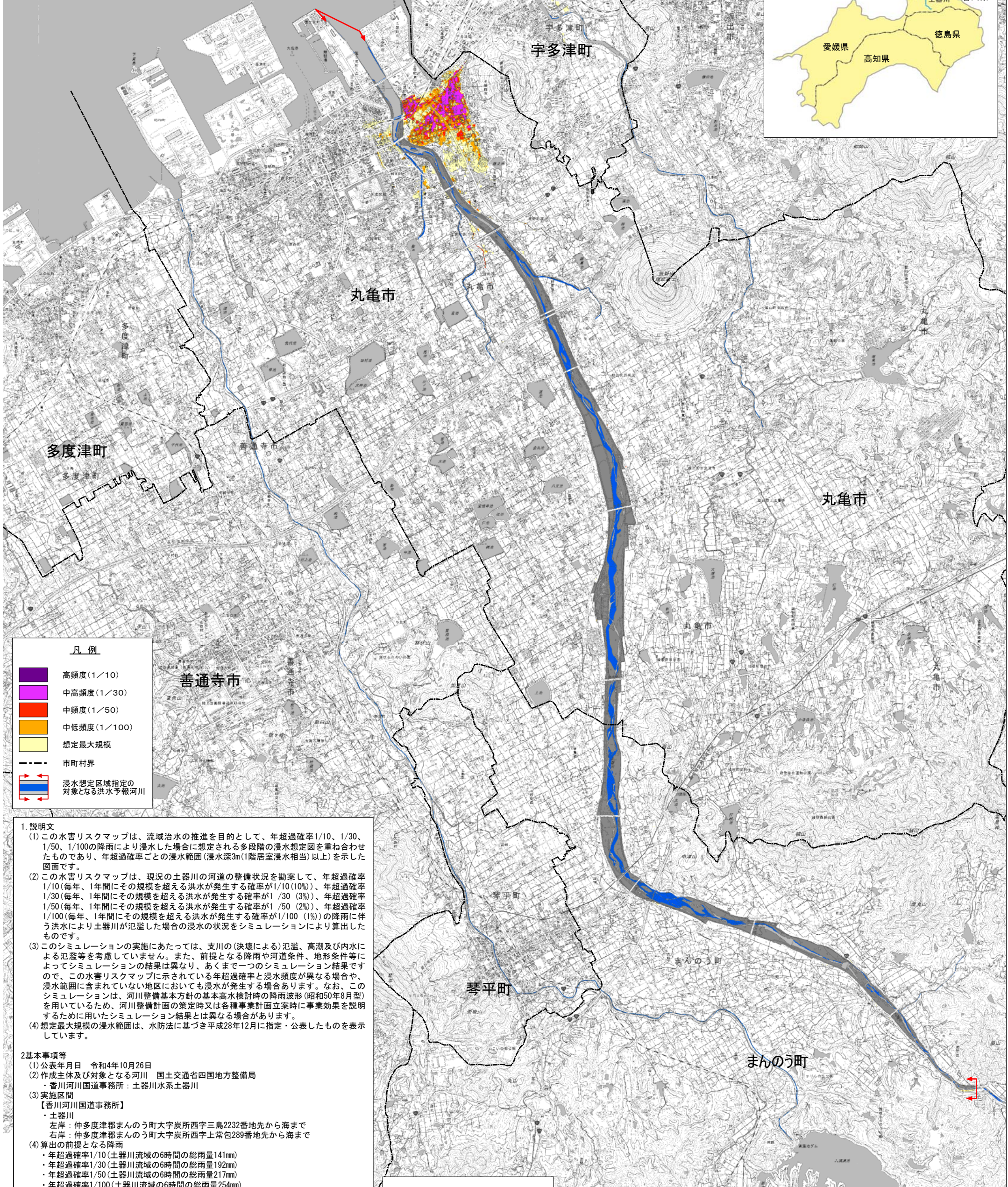
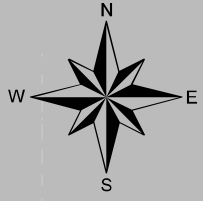


# 土器川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】

暫定版

浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

位置図



## 凡例

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 想定最大規模
- 市町村界
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

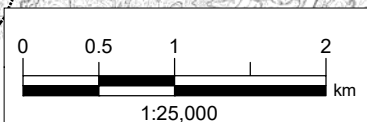
## 1. 説明文

- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。
- この水害リスクマップは、現況の土器川の河道の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水により土器川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和50年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しています。

## 2. 基本事項等

- 公表年月日 令和4年10月26日
- 作成主体及び対象となる河川 国土交通省四国地方整備局  
・香川河川国道事務所：土器川水系土器川
- 実施区間  
【香川河川国道事務所】  
・土器川  
左岸：仲多度津郡まんのう町大字炭所西字三島2232番地先から海まで  
右岸：仲多度津郡まんのう町大字炭所西字上常包289番地先から海まで
- 算出の前提となる降雨  
・年超過確率1/10(土器川流域の6時間の総雨量141mm)  
・年超過確率1/30(土器川流域の6時間の総雨量192mm)  
・年超過確率1/50(土器川流域の6時間の総雨量217mm)  
・年超過確率1/100(土器川流域の6時間の総雨量254mm)
- 河道条件：現況
- 関係市町村：丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、多度津町、琴平町、まんのう町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所

「測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 4JHF 132」

「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」